



ニュース & トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

3月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングルスタッフにお声がけください。

ご意見・ご感想をお寄せください

第22回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

暦の 上ではもう春になりましたね。まだまだ朝晩は寒い日が続きますが、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。3日の節分の豆まきはなさいましたか？きっと、ご家族でにぎやかな節分を過ごされたことでしょう。

ニュースレター第22号をお届けします。今回もお楽しみいただければ幸いです。

春とは言え、まだまだ寒い日が続きます。お体に気をつけて、素敵な春を迎えられますように。

うさぎ年だもんで

静岡大学教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

くっ ろいだ心と身体のもとで出てくる自由連想にはその人の気持ちが映し出されているといわれます。

まず、うさぎで連想したのは「二兎を追うものは一兎をも得ず」でした。コレ、あれこれやらずにひとつのことに集中しなさい！の意味ですが、視点をうさぎ側に移すと、「2匹で逃げて助かった〜」ということでしょうか。

次に出てきたのは「うさぎと亀の競争」です。コレ、亀のように着実に進みなさい、あるいはうさぎみたいに計画性のない行動は慎みなさいの意味ですね。これも視点を移しましょう。結局、両者ともゴールしているからいいじゃん。しかもうさぎは休養つきだし。そもそも競争しなくてよかったんじゃない・・・。

日常生活でも視点を移す試みをしてみましょう。子どもが「課題（例えば宿題）に集中できない」は大人の視点です。子どもの視点は「考えることが多くて大変」「周囲が騒がしいんだよ」「何やるか知らないよ」かもしれません。

よくある「行動の切り替えが難しい」も大人側の視点ですね。当人にとっては「大事なことをやってるんだからやめられないの」「今が大事なんだよ」という声が聞こえそうです。



『イースターは明日から』トライアングル通所、中学2年生制作作品

こうやって視点を相手側に移してみると、声かけやお手伝いの仕方はずいぶん広がります。なんせ主役は当の本人ですからね。

その昔、多動と言われる子どもさんが、学校で虫を脱兎のごとく追いかけていて、勢い余って、大きな下駄箱を倒したことがあります。そのときその子が放ったひと言が「はやく俺を止めろ〜」でした。うーん、意味深い。まさに彼が主役のセリフです。みなさんだっ

たらどのように受け止めますか？いまだにふと思い出しては、その答えを考えることがあるのです。

みなさんはうさぎで何を連想しますか。ミッフィーちゃんやシルバニアファミリーといったほんわかしたかわいらしい姿かしら？

私は上のふたつ。さあ何を映し出しているのでしょうか。





スタッフ紹介



赤堀 民和子 先生

好きなこと：子どもたちの将棋ブームに乗り、一緒に始めた将棋が大好きになりました。父と息子が将棋好きだったこともあり、二人に駒の動かし方のルールを一から教えてもらいました。実戦や詰め将棋のヒントをもらう中で、家族との会話が増えて嬉しいおまけとなりました。

やりたいこと：寺社巡りをして、その季節限定の御朱印を頂きに出かけたいです。ミュージカルやコンサートにも、気軽に出かけられる日が来ることを願っています。

一言：子どもたちが、見せてくれる表情や表れから、改めて「人間は多面的だな。」と感じます。これから、ひとりひとりの良さを個別支援から集団支援へと繋げていけるようきめ細やかな支援を心がけていきます。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



出た色の上に手足をのせるツイスターゲーム。何色が出るか、どこに置くのか、スタッフも子供たちもドキドキです！



スタッフと作ったサッカーゲーム。順番を決めローテーションで対戦。2人が対戦中は他の子が審判役に回ってくれました。



タイマーで3分を測り遊びたい道具を交換。みんなで平等に時間を決めることで、上手にローテーションができました。



冬休みの製作企画。説明を集中して聞いてくれました。それぞれ個性が溢れて素敵な作品が出来上がっていました。

子育てのヒント 『突然、その場にそぐわない話を始めてしまう』

突然

話題を変えてしまう子は、頭に浮かんだことをそのまま口にしてしまう子です。そのような子は、その場の状況や相手の表情・気持ちを推し量ったりする力が弱いことが考えられます。しかし、このような力を育てるためには時間が必要で、短期間で結果を出すことは不可能です。そこで、見方を変えて考えてみましょう。『話上手は聞き上手』と言われますが、『話す力』よりも先に『聞く力』に着目して、聞くことの楽しさを学ぶことから始めます。『話を聞く』時のポイントは、以下のようなことが挙げられます。1. 相手の目を見て聞く。目だけでなく体ごと相手に向けさせます。2. あいづちを打ちながら聞く。「ふ〜ん」「へえ〜」など、相手の邪魔にならないように使い分けて対応。3. 相手の話を遮らないで最後まで聞く。相手の話がひと段落するまで話を遮らない。4. 分からないことや気になることを質問する。さらに話が広がるように質問します。5. ほほえみながら聞く。相手が話しやすいように聞く側の表情も大事です。あいづちや質問の内容など、おうちの方が相手になって『聞き上手』になるための練習をしてみましょう。

スタッフのオススメゲーム『マンカラ・カラハ』

マン

カラ・カラハは、起源とされているアフリカを始め、世界中でプレイされている世界最古のゲームの一つです。アイテムは、ガラス玉を入れる穴が6個×2列並んだボードとガラス玉で構成されていて、いたってシンプル。遊び方もとても簡単で、子どもでもすぐに覚えることができます。遊び方をご紹介したいところですが、文字だけで説明するのは不可能なので、今回はAmazonに掲載されているレビューをご紹介しますね。

『孫と対戦するのですが、全く勝てません。基本のルールは簡単で年齢問わず家族で楽しめるとても良いゲームだと思います。』『逆に子供の方が得意そう！勝てない。笑』『兄弟も親も祖父も対戦相手になったのですが、全員がもう一回！と言うほど白熱して楽しかったです。』『毎日楽しくやっています！頭を使うし、先読みする力もつきます！』『先を読んで石を動かす、単純な作業なのですが、頭と手を使うのは子供の成長にもいいかも！』と、こんな感じで高評価が並んでいます。あなたも、すぐにでも始めてみたくなっただけではありませんか？商品は多くのメーカーから発売されていますので、ネットでお好きなものを選んでみてください。



編集後記

ChatGPTが昨年末からメディアを賑わしている。ChatGPTとは、チャットで質問をすると、それに対する答えを即座に返してくれる人工頭脳（AI）ツールだ。驚くのは、プログラムや小説を書く・数学の問題を解くなど多岐に渡り、スマホに入っているAIとは全く異なっている点だ。多くの人がこれに飛びつき、既に仕事に応用する人も出てきている。スマホの登場で私たちの生活は大きく変わったが、今後AIが身近になることで、さらに世の中が変わっていくだろう。さて、私はこれを何に使うのか？（M）

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp